

新 執刀医のための サージカルテクニク

Surgical Techniques for Masters

総編集 徳橋 泰明 日本大学医学部整形外科系整形外科科学分野主任教授

2004年から刊行し、基本的な手術書として好評を得た『執刀医のためのサージカルテクニク』シリーズ。それから10年以上が経過し、手術手技・使用器具の進歩により大きく変更されている術式や、新たな術式も取り上げ、今の時代に即した手術内容で新シリーズとして刊行。より執刀医の視点に立った記述で、最前線で活躍する経験豊かな臨床医からのアドバイスが豊富に散りばめられている。さらに助手を卒業していき執刀医となった医師のニーズに応える情報も提供。手術を行うすべての整形外科医必携の書！

体裁：B5変型判・オールカラー・240頁程度

そろそろ助手を卒業ですか？

実は執刀医は手術のこんなところに注意しているんです！

Sample Page

ペース配分が理解しやすいように、各手術手技の流れを「起・承・転・結」の4段階に分けて、豊富な図・イラストと具体的かつ簡潔な解説で構成。

頸椎性脊髄症に対する片開き式椎弓形成術、後方固定術

日本大学医学部整形外科系整形外科科学 上井 浩

適応病態

- ①画像所見で椎間以上の圧迫性変位を認め、神経症状を呈する症例。
- ②性別の病変であっても、異質性骨性椎弓突等認められる症例。
- ③硬い後方硬変では後方除圧による効果が期待できないため、前後合併手術を考慮する。

術前シミュレーション

- 術前準備
 - 圧迫病変のレベルの把握
 - 椎弓切除の決定
 - 固定の有無の決定
- 手術体位
 - 頸椎前弯の減少
 - C2棘突起からC7棘突起まで
- 起 皮切
 - 正中線の導入
 - C2棘突起に付着している後縦筋の可能な全露出
 - C2/3、C6/7棘突起の切離
 - 椎弓根に外鎖状クリューを設置
 - 椎弓根をdissection
 - ロッドを通し固定
- 承 インストルメンテーションの設置
 - 椎弓根は術前MRで確認
 - あまり外傷をせずに摘出
- 転 骨溝作製
 - 椎弓根を骨質を確保するように拡大
 - 拡大と椎弓根の露出を調整
- 結 最大椎弓の固定・保持
 - 最大した椎弓をオープンプレート固定
 - Eコーで後方の確認
 - 持続吸引ドレーンの設置

術前日のポイント整理に...

Advice

【MAYFIELD® 3点固定器】
 ①MAYFIELD® 3点固定器を患者の頭部に装着する（図1）。
 ②固定を減らし、頸部を安定させるためにHalo支持器（Halo frame）を設置する。
 ③患者を側臥位にする。
 ④頭部は軽度屈曲とし、胸椎後弯の頂上と後縦筋突起が同じ高さになるように、頭部の高さとアライメントを調整して固定する。
 ⑤上肢は両側を身体と固定し、肢端部と頸部は軽度屈曲位とする。
 ⑥手術台を固定してから、頸部を固定する。
 ⑦肩甲骨部を固定し牽引してテープ固定を行い、後頭部の痛みが軽減される。

手術体位

①患者を側臥位にする。
 ②頸部を安定させるためにHalo支持器（Halo frame）を設置する。
 ③患者を側臥位にする。
 ④頭部は軽度屈曲とし、胸椎後弯の頂上と後縦筋突起が同じ高さになるように、頭部の高さとアライメントを調整して固定する。
 ⑤上肢は両側を身体と固定し、肢端部と頸部は軽度屈曲位とする。
 ⑥手術台を固定してから、頸部を固定する。
 ⑦肩甲骨部を固定し牽引してテープ固定を行い、後頭部の痛みが軽減される。

起 皮切

皮切は正中線から1cm後方から行なう（図1）。

起 棘突起および椎弓の露出

①正中線の導入
 ● 正中線の導入
 ● C2棘突起に付着している後縦筋の可能な全露出
 ● C2/3、C6/7棘突起の切離
 ● 椎弓根に外鎖状クリューを設置
 ● 椎弓根をdissection
 ● ロッドを通し固定

承 インストルメンテーションの設置 (Magerl法®)

①椎弓根の露出
 ● 椎弓根を骨質を確保するように拡大
 ● 拡大と椎弓根の露出を調整

転 骨溝作製

①椎弓根を骨質を確保するように拡大
 ● 拡大と椎弓根の露出を調整

結 最大椎弓の固定・保持

①最大した椎弓をオープンプレート固定
 ● 最大した椎弓をオープンプレート固定
 ● Eコーで後方の確認
 ● 持続吸引ドレーンの設置

Advice

【Magerl法®】
 ● 椎弓根の露出
 ● 椎弓根を骨質を確保するように拡大
 ● 拡大と椎弓根の露出を調整

術前シミュレーション

手術のアウトラインをフローチャートで掲載。手術の流れが一目でわかる！

ワンポイントアドバイス

是非とも継承したいテクニックや思わぬアクシデントを招きそうな注意点、覚えておくべき解剖学的に重要な点など、場面ごとに経験豊かな術者のアドバイスを豊富に掲載。

Advice

【棘突起の注意】
 ● 棘突起の露出
 ● 棘突起を骨質を確保するように拡大
 ● 拡大と棘突起の露出を調整

ワンポイントアドバイス

● 本手術をやるときは必ずこの順序で行なうこと。逆の順序で行なうと、骨質の露出が不十分になり、固定が不安定になる可能性がある。

後遺症

①術当日はベッド上安静とし、術後1日目は歩行を許可する。
 ②ドレーンは術後24時間以内に抜去する。
 ③術後2週間以内は長時間の歩行は避ける。術後の痛みが強い場合は、医師の指示に従って痛み止めを服用する。

脊椎

担当編集 **徳橋 泰明** 日本大学医学部整形外科系整形外科学分野主任教授

目次

執刀医の心得

腰椎椎間板ヘルニアに対する髄核摘出術 (いわゆるLove法)

腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下椎間板摘出術 (MED)

腰部脊柱管狭窄症に対する棘突起縦割式椎弓切除術

腰椎変性疾患に対する後側方固定術 (PLF)

腰椎変性すべり症に対する後方進入椎体間固定術

頸椎性脊髄症に対する片開き式椎弓形成術、後方固定術

頸椎性脊髄症に対する棘突起縦割式椎弓形成術 (T-saw laminoplasty)

頸椎性神経根症、脊髄症に対する前方除圧固定術

骨粗鬆症性椎体骨折に対するBalloon kyphoplasty

骨粗鬆症性椎体骨折偽関節に対する椎体形成術併用の後方固定術

胸腰椎移行部脊椎外傷に対する後方固定術

転移性脊椎腫瘍に対するMISt (最小侵襲脊椎安定術)

環軸椎亜脱臼に対する後方固定術 XLIF® (eXtreme Lateral Interbody Fusion)

腰椎変性側弯症に対するOLIF (oblique lateral interbody fusion)

馬尾腫瘍摘出術



■ 定価(本体 13,000円+税)
240頁・イラスト300点
ISBN978-4-7583-1862-4

上肢

担当編集 **長尾 聡哉** 板橋区医師会病院整形外科部長 日本大学医学部整形外科学系整形外科学分野講師

目次

執刀医の心得

鎖骨骨折に対する観血的整復固定術

上腕骨近位端骨折に対するプレート固定術

上腕骨近位端・骨幹部骨折に対する髄内釘固定術

上腕骨遠位端骨折に対する観血的整復固定術

肘頭骨折に対する観血的整復固定術

前腕骨骨折に対するプレート固定術

橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術

舟状骨骨折に対する観血的整復固定術

手指骨折に対する経皮的鋼線固定術・プレート固定術

小児肘関節周辺骨折の手術

肩関節鏡視下手術

肘関節鏡視下手術

肘部症候群に対する単純除圧術・尺骨神経皮下前方移動術

手根症候群に対する手根管開放術

ばね指に対する腱鞘切開術

手指屈筋腱断裂に対する腱縫合術

手指伸筋腱断裂に対する腱縫合術

前腕・手部神経損傷に対する神経縫合術

上肢軟部腫瘍の手術

■ ISBN978-4-7583-1860-0

下肢

担当編集 **齋藤 修** 日本大学医学部整形外科学系整形外科学分野准教授

目次

執刀医の心得

股関節脱臼骨折(後壁骨折)に対するORIF

FAI に対する股関節鏡視下手術

人工股関節全置換術 (THA) ・後方アプローチ

大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術・後方アプローチ

大腿骨頸部骨折に対するORIF

大腿骨転子部骨折に対するcephalomedullary short nail 法

大腿骨転子部骨折に対するcephalomedullary long nail 法

大腿骨ステム周囲骨折に対するORIF

膝蓋骨骨折に対するORIF

脛骨高原骨折に対するORIF

前十字靭帯 (ACL) 再建術

高位脛骨骨切り術 (HTO) ・Opening wedge HTO

人工膝関節全置換術 (TKA)

人工膝関節単顆置換術 (UKA)

Pilon 骨折に対するORIF

髄内釘を用いた足関節固定術

人工足関節全置換術 (TAA) ・FINE 人工足関節

距骨軟骨損傷に対する鏡視下手術

踵骨骨折に対する固定術

アキレス腱断裂に対する腱縫合術

■ ISBN978-4-7583-1861-7

定価 13,000円程度 体裁：B5変型判・240頁程度・オールカラー



*ご注文、お問い合わせは最寄りの医書取扱店または直接弊社営業部まで。

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2番30号

TEL.03(5228)2050 E-mail (営業部) eigyo@medicalview.co.jp

FAX.03(5228)2059 http://www.medicalview.co.jp

スマートフォンで書籍の内容紹介や目次がご覧いただけます。



新 執刀医のためのサージカルテクニック

*ご希望の欄に冊数をご記入ください。

申込日 年 月 日

取扱店

脊椎 冊

上肢 冊

下肢 冊

冊

フリガナ
お名前

ご注文

〒 (どちらかに〇印/ ご自宅・ご勤務先)

TEL. ()

